



社会福祉  
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 16 号

平成20年4月15日発行

# ひとつぶの麦

社会福祉法人

九十九里ホーム

〒289-2147

千葉県匝瑳市飯倉21番地

TEL 0479-72-1131(代)

<http://www.99-home.com>



(聖マーガレットホーム 澤田 明江さん)

**「まことに主がこの場所におられるのに、わたしは知らなかった。」**

— 旧約聖書「創世記28章」—

聖マーガレットホーム入所者の澤田明江さんが、口にスティックをくわえてパソコンで描いてくださったのはローズガーデン（バラ園）の絵です。ローズガーデンで思い出すことがあります。

以前、私がアメリカのバークレー市にある神学校に留学していたときに、神学校と寮の近くにローズガーデンがありました。丘陵地の地形を利用したすばらしい庭園だったのですが、私が最初に訪れたのはアメリカにきて一年以上経ってからのことでした。それまでは湾の向こうのサンフランシスコに目が向いていて、身近にある美しい庭園に気づかなかったのです。その後も意外に身近なところに豊かな恵みがあるのに、長い間見過ごしてしまう事がありました。その度にバークレーのローズガーデンのことを思い出します。

日本聖公会八日市場聖三一教会牧師

九十九里ホーム・チャプレン 司祭 竹内一也

## 地域の要介護高齢者のケアとくつろぎの場

### ケアサロン悠々オープン

本年4月1日、当法人の通所介護施設、ケアサロン悠々（以下「悠々」）が匝瑳市八日市場中央地区にオープンしました。この「悠々」は、匝瑳市在住でタイハイ電子株式会社取締役顧問の太田定吉さんが私財をもって建設し、当法人に寄付をされ施設の運営をまかせていただいたものです。今回、太田さんが、どのような動機で「悠々」を作られたのか、また、当法人に寄付していただいた理由などについてお聞きしましたので、ご紹介します。



太田定吉さん

#### 地域のお年寄りに憩いの場を

一太田さんは、しょうゆ醸造、給食、電子部品等の事業を全国的に展開されているタイハイ株式会社の経営に長年携わってこられたわけですが、今回全く異分野の介護サービスを提供する施設を作られた動機について、まずお話しいただけますか。

実は、私の妻は認知症で現在要介護4の状態です。妻が認知症になったのは60歳前半で、それから私が自宅で介護をしてきました。最初は、医師から認知症であることを告げられても、正直言って認めたくなかった。まさか自分の妻がという気持ちだったと思います。自分で介護をしていくうち認知症は進行していき、妻の体を動かそうとすると、認知症の症状の一つだそうですが、抵抗するようになった。そんな状況ですから、妻に怪我でもさせたらそれこそ大変だと思ふようになりました。そんな折、私も病気で入院をしたため、自分ひとりでは介護は無理になり、デイサービスやショートステイ等の介護サービスを利用させていただくようになりました。この地域にも、妻と同じように介護を必要とするお年寄りがたくさんいると思います。また、一人暮らしのお年寄りも多く、この方たちが将来介護が必要になったときのことが大変心配です。地域で暮らしている介護が必要なお年寄りが、気軽に安心して利用できるような施設があればと考えるようになったのが、今回の「悠々」を作ろうと思ったきっかけです。

#### 九十九里ホームの実績とノウハウに期待

一今回、「悠々」を作られるにあたって、太田さんが経営や運営をされるのではなく、当法人に建物を寄付していただき、当法人の施設として運営を全面的に任せていただいたわけですが、その理由についてご説明いただけますか。

「悠々」を作るにあたって、九十九里ホームの井上理事長と江波戸専務にいろいろと相談にのっていただきました。九十九里ホームは、この地域において長年医療や介護で実績を積んでおり、多くのノウハウを持っておられます。私は、介護施設の運営では素人ですし、「悠々」を成功させるためには九十九里ホームの実績とノウハウを生かしてもらい運営してもらおうのが一番いいのではないかと思います。九十九里ホームに寄付して運営をお任せすることにしました。介護の分野も財政面で厳しい状況にありますが、井上理事長より「悠々」単体での経営を考えれば難しい面もあろうが、九十九里ホームにおける介護サービスの一つとして法人全体で考えていきますと言っていただき、むしろ感謝しています。

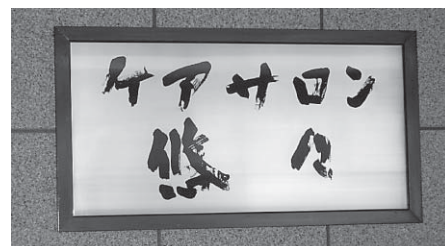
もう一つは、九十九里ホームとの長年のお付き合いから来る信頼関係です。以前、私をはじ

め姉や弟は九十九里ホームに入院させていただきましたし、母も腰痛の治療で金先生にお世話になっていました。また、私の友人の母親が訳があつて急にアメリカより帰国し、行き先に困っていたところ、当時の大谷専務様にご相談し九十九里ホームに急きよ入院させていただきました。そして、その母親は最後は松丘園で亡くなりました。そういう個人的なことに加え、九十九里ホームが昭和40年代でしょうか、過激な労働運動で大変厳しい状況にあつたとき、もし給食部門もストを行った場合には、タイハイにて給食を作ってもらえないかとの依頼があつたこともありました。当社としては、全面的に協力するつもりで用意をしていたのですが、幸い給食のストはなく、当社が給食を提供することはありませんでしたが。

## 「悠々」は心広く、雄大なイメージから命名

—「悠々」という名称は、太田さんが決められたそうですが、どのようなところから「悠々」になされたのですか。

私の趣味は詩吟で、日本修道流吟詠会会長と千葉県吟剣詩舞道総連盟会長をしているのですが、その弟子の一人から「悠」という字の提案がありました。この字には心広く、雄大なイメージを感じました。また、中国の友人が私のために漢詩を作ってくれたことがあるのですが、その中にも「悠」の字が入っていましたので、この「悠」に決め、もう一字付け「悠々」にしました。文字は当家の菩提寺である東栄寺のご住職に書いていただきました。



「ケアサロン悠々」館銘板



風呂の外の坪庭

## 環境面にも配慮

—「悠々」の建設にあたって、重視したことやこだわったことはありますか。

「悠々」に太陽光発電を設置したことです。最初は、タイハイ電子の工場での設置を考えたのですが実現できず、自宅に設置しました。これからは環境面に配慮し、自然エネルギーをできるだけ利用することが重要だと考えています。また、設計士からの提案でお風呂の外に坪庭をつくりました。利用者の方に外を眺めながらゆったりお風呂に入ってもらえればと思っています。

この「悠々」を近所の介護の必要なお年寄りに気軽に利用してもらい、そして喜んでもらえれば、嬉しい限りです。

## 九十九里ホームの地域への貢献に期待

—最後に、当法人への要望や期待することがあれば、お聞かせください。

九十九里ホームは英国人宣教師のヘンテ女史によってつくられたと聞いています。キリスト教の奉仕の精神に基づき、長年この地域で医療、介護、福祉の活動をされ、多くの実績を残されてきました。近年は、介護、福祉事業に力を入れておられるようですが、九十九里ホーム病院が同じ法人内にあるのは、利用者にとっても安心感を与えます。これからもこの地域の医療、介護、福祉のために、頑張ってもらいたいと思います。そして、「悠々」を是非、利用者のお年寄りに喜んでもらえるような施設にしていきたいと思っています。期待しています。

# 「ケアサロン悠々」のご案内

ケアサロン悠々は、地域の要介護高齢者の方々の憩いの場として、主に匝瑳市内の方を対象にデイサービスを提供する小規模型通所介護施設です。ゆったりとしたスペースにサロン、リハビリコーナー、食堂、坪庭に面した浴室、和室等が配置され、床はフローリングの床暖房で冬も快適です。広いトイレが三ヶ所あり、支えなどにも工夫がなされています。また、庭に面した部分には、ウッドデッキがあり、天気の良い暖かい時には、この場所でくつろいでいただけます。設備だけでなく、ケアも当法人の経験豊富なスタッフがいたしますので、利用者の方々に十分に満足していただけるものと思います。



ゆったりとしたサロン、奥はリハビリコーナー

○ご利用対象者 介護保険の要介護認定を申請し、要支援及び要介護1～5と認定された方、もしくは市町が利用を認めた方

○定 員 1日 概ね10名程度

○営業日 毎週月曜日～土曜日  
(12月30日～1月3日は除く)

○ご利用方法 ケアサロン悠々の利用をご希望の方は、直接当施設にご連絡いただくか、居宅介護支援事業所、あるいは担当の介護支援専門員（ケアマネージャー）にご相談下さい。

○住所、TEL 千葉県匝瑳市八日市場イ2804-3  
TEL 0479-73-7116



落ち着いた雰囲気のと室



日当たりの良いウッドデッキ

# レポート

## 地域づくりの拠点への第一歩

### ～横芝光町地域包括支援センター～

平成19年4月、横芝光町より委託を受け第二松丘園内に“横芝光町地域包括支援センター”が開設致しました。

地域包括支援センターとは、平成18年4月介護保険制度改正により、新たに設けられた事業ですが、介護保険制度のより安定的な運営、高齢者の地域生活の継続などを可能にするためのシステムのひとつです。近隣の市町では、行政内に開設されましたが、横芝光町では九十九里ホームへの委託を決め、第二松丘園内で開設の運びとなりました。

開設後、試行錯誤のなか早くも一年が経過致しました。一年を振り返り、地域包括支援センターの役割を見直し、新年度の課題を考えてみたいと思います。地域包括支援センターは、“介護予防”“総合相談”“権利擁護”についての業務が主になりますが、要支援1、2の認定を受け、介護サービスを利用している方の給付管理、介護保険制度の利用や介護方法などの説明、指導、消費者被害や高齢者虐待、成年後見制度利用などの相談をお受けしています。

## 高齢者の方の医療制度が変わりました

一昨年に医療に関する大きな制度変更が国により決定されました。それに基づき、高齢者の患者の方の自己負担の増加等が実施されていましたが、本年4月より、後期高齢者（75歳以上の方）の新たな医療保険制度がスタートしました。この制度は、75歳以上の方全員と65歳以上75歳未満で障害の認定を受けた方を対象とした新たな保険制度です。対象の方には既に新しい被保険者証（保険証）が届いていると思いますが、今まで、国民健康保険に加入されていた方やご家族の被扶養者で保険料を支払っていなかった方も全員加入する保険で、加入者全員が保険料を支払います（一時的に負担の軽減がされる方があります）。

「高齢になっても住み慣れた地域で暮らしたい」そんな思いが相談の中からしみじみと伝わってきます。

“介護予防”については、次第にご利用者の方々にも浸透し、受け身のサービスから心身を向上させるためのサービスへと意識が変わられ、介護認定が軽度になったことを共に喜べるようになっていきます。

地域包括支援センターは、介護サービスだけでなく、地域での介護予防への取り組みにも参画し、国が掲げる「明るく活力ある超高齢社会」の担い手としても取り組んでいます。

しかし、辛いことには、人口が3万人に満たない町でも、高齢者虐待の事例がいくつも発生しています。“虐待を起こさない”ための支援づくりは大きな課題です。

歩み始めたばかりの地域包括支援センターですが、「地域とは何か」「地域づくりはどのようにすべきか」を深く考え、相談に来られた方々が「ほっ！」として帰られる窓口になりたいと思っています。

また、平成24年までに療養病床（長期療養が必要な患者の方のための病床）が大幅に削減される予定です。これらの制度変更は、高齢者の患者の方や医療機関に大きな影響を及ぼすものと思いますが、九十九里ホーム病院は、療養病棟を継続すると共に、患者の皆様の医療ニーズに答え、サービスの一層の向上を目指し、職員一同引き続き努力をしております。



## 市野カツ子さんの思いを引き継いで

### — 遺言により当法人に再度多額の寄付 —

当法人にて長年勤務され活躍された市野カツ子さんが、101歳で亡くなられてからまもなく1年になります。市野さんは、当法人に入職以来、九十九里ホーム病院総看護師長、松丘園園長、同名誉園長を歴任され、長年の看護分野における功績が認められ、平成元年に勲五等瑞宝章を受章されました。



市野さんが最後に生活されていたミス・ヘンテ記念ケアセンターの須郷説子看護師長は、市野さんの思い出を次のように語っています。「私が、九十九里ホーム病院に入職当時、市野さんは総看護師長をされていましたが、命の尊さとはかなさなど、本当に色々な事を教えていただき、凜とした言葉や態度は今も心に残っています。市野さんが松丘園の園長になられたのは70歳のときでした。毎日お年寄りのところを回り、言葉をかけて励まされていました。晩年の数年間、私どものケアセンターでお過ごしいただいたことは、大変光栄に思っています。静かに祈りを捧げられ、礼儀正しく自分のことは自分でなさる日々を送られる姿に、若い職員も感銘を受けておりました。」

また、市野さんは生前“市野基金”を創設され、看護師を目指す若い後輩たちの支援をされ、多くの看護師が育っていきました。そして、今回遺言を残され、当法人の今後の発展と職員の活躍を願い、再度多額の寄付をしてくださいました。当法人と職員一同は、市野さんの遺志に沿うべく、尚一層地域の医療、介護、福祉に貢献すべく努力してまいります。

## 利用者や家族に大好評

### 聖マーガレットホームにて「足立たま押花展」開催

平成19年12月12日から平成20年1月15日までの約5週間、聖マーガレットホームで、当法人では第2回目となる足立たまさんの押花展が開催されました。利用者や来園された家族の方々にとても好評で、「髪の毛や肌も押し花で出来ているのには驚いた。」「自分がやったのでは色がすぐにあせてしまうが、きれいな色をいつまでも保つ技術がすばらしい。」



利用者より花束を受け取る足立たまさん



「これだけの作品をつくるのはとても大変だったと思う。感動した。」などの感想がよせられました。最終日には、足立たまさん本人が聖マーガレットホームに来園され、感謝の気持ちをこめて利用者より花束が贈呈されました。まるで絵画のようなすばらしい作品に利用者や職員は癒された様子でした。また作品を見て刺激され、制作意欲を持たれた方もいらっしゃいました。

# お神楽が舞う

本年1月12日に、瑞穂園にてお神楽とお囃子の公演がにぎやかに行われました。

旭市大塚原地区の響友会の方々が、舞台いっぱいにお囃子や舞を披露して下さいました。この太々神楽は、明治初期から引き継がれ、地元为天御中主神社に五穀豊穡を願い、代々奉納されて来たとの事です。途中後継者問題で中止された時期もあったそうですが、この伝統を守り、次世代に引継いでいこうという事で頑張っているらしいです。今回のお神楽の舞では、12面の中の一つ「田の神」をユーモラスに舞っていただきました。現在は、月2回の練習で、新しい舞を練習中との事です。

初めて御覧になる方がほとんどで「楽しく拝

## 養護老人ホーム瑞穂園



ユーモラスなお神楽に多くの入所者が喜ばれました  
見させていただき、とても感動しました」と多くの入所者が喜ばれておりました。

# 記念すべき15回目のふれあいギャラリー開催

九十九里ホームでは、各施設を利用して



いるお年寄りや障害を持った方が、クラブ活動や趣味を通じ作り上げた工芸品、書、絵画などの作品を、多くの方に見ていただけたらと、毎年ふれあいギャラリーを開催し

ておりますが、本年度15回目を迎えることができました。

本年1月26日から3月14日まで、匝瑳市八日市場公民館を皮切りに九十九里ホーム7施設にて展示しました。見学していただいた方から沢山の暖かい感想をいただきましたが、その一部をご紹介します。「個性あふれる作品で良かったです。」「すばらしい作品ばかりで感動しました。」「自分も励まされました。」など、作品を作った方はもちろんそれに携わっている職員も、多くの方が足を運んでくださった事に感謝いたします。

# 獅子舞とともに新年が始まる

## 九十九里ホーム山田デイサービスセンター

お囃子が鳴り響くと共に獅子が登場すると、山田デイサービスセンターの新春会が始まります。

今年で4年目を迎える獅子舞ですが、新年の恒例行事として待ちわびているご利用者の方も多く、獅子の頭をなでたり、自ら口の中に手を入れる方や、頭を突き出し獅子に噛んでもらい「これで悪いところが良くなる」「今年も一年、健康でいられる」と喜ばれています。

いつもとは違うご利用者の表情や声を聞き、職員も「毎年行なっていきたい」という気持ちで、日々練習に励んでいます。

これからも、ご利用者の「健康と幸せ」の為、新年の恒例行事として続けていきたいと思っております。



獅子に頭を噛んでもらい、今年一年の健康を願います

更なる向上を目指して

## 法人内研究発表会開催

平成19年11月16日に第17回目となる法人内研究発表会が開催されました。今回から新たに優秀な研究に対する賞の授与や、前回の研究成果の現状報告といった取り組みが実施されました。発表内容も有意義なテーマ・目的に加え、データの収集・分析を充実するなど、回を追うごとに確実に前進しており、研究として充実してきていることが感じられました。その中で今回受賞した研究は、最優秀賞に九十九里ホーム病院の「医事課における外来患者満足度の実態調査」と、優秀賞に九十九里ホーム在宅介護支援センターの「独居高齢者の生活実態と今後の支援のあり方について」となりましたが、どの発表もパワーポイント

を使用するなど、非常に見やすく、分かり易くまとまっております。素晴らしい内容でした。次回の研究発表会も更なる向上を期待します。



最優秀賞の九十九里ホーム病院の研究発表

## それゆけ！バレーボール同好会

バレーボール同好会は、結成当初は有志の参加による活動でしたが、平成18年度から正式に同好会として活動を開始しました。

平成19年度に開催された、第2回千葉県医業健康保険組合被保険者バレーボール大会では、多くの期待を背負い大会に臨みましたが残念ながら日頃の練習の成果を発揮できず、接戦の末2回戦で敗退……。しかし、珍プレー、好プレーを連発しながら手に汗握る試合に選手一同興奮を隠せない様子でした。

次回、第3回大会では優勝を目指して是非

頑張りたいと思いますので、これからも多くの皆様の応援をよろしくお願いいたします。



## 団体戦6連覇達成！

～千葉県医業健康保険組合被保険者卓球大会～

昨年6月に行われた千葉県医業健康保険組合被保険者卓球大会では、大接戦の末、団体戦で優勝し6連覇を成しとげることができました。

毎年参加メンバーが少なくなっている中、今回は大勢の職員の参加のもと同好会として楽しく大会に望めました。これからもぜひ卓球経験の有無に関わらず、興味のある職員は一度見学や参加をして、一緒に汗を流してみませんか？

また、「医業健保卓球大会に九十九里ホーム

あり」をモットーに、今年も団体戦7連覇という偉業を達成する為にも頑張りたいと思います。



今年も優勝カップを獲得



## 助成事業の報告

### 日本自転車振興会(福祉車両整備事業)よりリフト車寄贈 特別養護老人ホーム第二松丘園

平成19年7月心待ちにしていました新しいリフト車が整備されました。当施設にはすでに数台のリフト車が運行しておりますが、デイサービス、ショートステイともに利用者の介護度が高いため、一般車両以上にリフト車が必要です。また、送迎時間が集中しているため、新しいリフト車は大変助かります。新しい車両はカラフルなイラストで軽快そのものです。今後も安全運転に努め、利用者の皆様に“笑顔と安心”をお届けしたいと思います。



### 日本民生文化協会より絵画の寄贈 特別養護老人ホーム松丘園

全国の社会福祉法人の多くが加入している日本民生文化協会より、慈彩会(心のこもった絵画、書道、工芸などの作品を社会福祉の為に役立てたいという思いで結成された団体)の展覧会の出点作品の中から大谷良子様の絵画「初夏の甲斐駒風景」を寄贈していただきました。利用者や職員の心に潤いと癒しを与えてくれる事と思います。

### 株式会社タマス様より卓球台寄贈

#### 聖マーガレットホーム

株式会社タマス様より「創立56周年記念事業」として、卓球用具一式を寄贈していただきました。スポーツを通じてのリハビリ用具やレクリエーションの一端として活用させていただきます。



### 富岡中学校より折り鶴の壁画の寄贈

#### 九十九里ホームデイサービスセンター

横浜市富岡中学校の生徒743名が、学校の文化祭に向けて半年をかけて製作されたものです。「ひとりひとりが輝いて」という文化祭のテーマに基づき、プラネット(宇宙)が折り鶴で表現されています。毎年、デイサービスセンターの大きな壁面に飾られ、利用者の方も楽しまれています。



### 須賀小学校より車椅子の寄贈

#### 特別養護老人ホーム松丘園

匝瑳市立須賀小学校と当園は、長年にわたる交流会を通じて、地域のふれあい活動を実践してきました。同小学校では、平成16年度より児童の皆さんの自主的な活動として“アルミ缶を集めて車椅子を”に参加し、この度車椅子を購入され、寄贈していただきました。大切に使用させていただきます。



### 東陽小学校より車椅子の寄贈

#### 特別養護老人ホーム第二松丘園

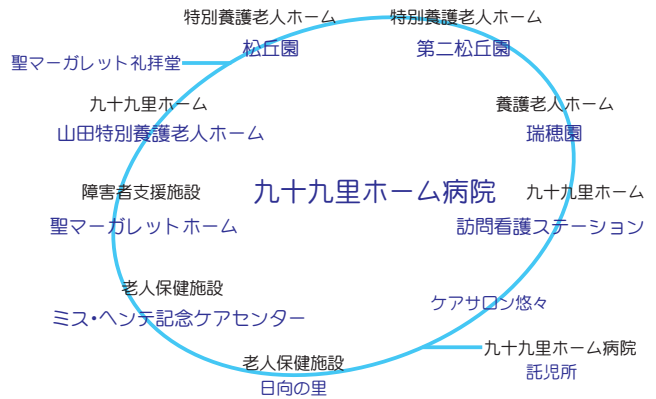
東陽小学校で開催された歌声いっぱい集会の会場で車椅子2台をいただきました。同小学校の児童が協力し空き缶のプルタブを集め車椅子に交換したものです。アルミタイプで非常に軽量で使いやすく、デイサービス、特養に1台ずつ配備いたしました。大切に使用させていただきます。





法人本部全景

九十九里ホームネットワーク



— 新たな可能性に向け「日中活動支援」を開始 —

平成18年に障害者自立支援法が施行され、その一環として聖マーガレットホームにおいても、介護支援の他、生産活動・創作活動の機会の提供ということで、「日中活動支援」が始まりました。活動を計画するにあたり、まず利用者のニーズの調査から開始。「どんな活動が出来るのか?」「どんな活動なら利用者に喜んでいただけるのか?」「地域や社会に貢献出来るような活動はないのか?」「高齢の方や重度の方がどうしたら活動へ取り組めるか?」といったことが課題となっていきました。利用者との話し合いの結果、具体的な作業として、これまで行っ



空き缶リサイクル活動で社会に貢献

てきたおしぼりたたみの他、野菜の袋詰めと販売、空き缶のリサイクル活動、草花の栽培、ポストカードの作品製作などを、新たな活動として行うこととなりました。当初は日中活動がどういうものなのか戸惑いもあったと思いますが、それでも利用者の「社会に貢献したい、役

立ちたい」などの思いから現在に至っています。実際、利用者の仕事に対する思い、創造性、ノウハウは作業をする上で大いに役立っていますし、最近では徐々に積極性も増し、時には利用者同士の協力しあう姿も見られるようになりました。先日ある保護者の方からたくさんの花の苗木をいただきましたが、これもご家族の理解あってのことだと思います。利用者が協力し合うことで、障害を受容していき、新たな可能性を発見し、更に将来的には、主体性を持つことで思いを実現出来るような活動になればと考えています。



新鮮な野菜は大変好評です

聖マーガレットホームは新しい制度に

聖マーガレットホームは本年4月から新制度に移行しました。施設名称は**身体障害者療護施設**から**障害者支援施設**となります。昼間は生活介護事業となり、本人の障害の状態や興味、関心に合わせた活動を支援します。夜間は施設入所支援事業となり、今までどおり施設での生活を保障するため、食事や排泄、移動などの日常生活を支援します。3人だった夜勤者を4名配置とし、手厚い介護を目指します。